

総合的な学習の時間活動プラン

うるま市立中原小学校 6年2組
男子18名 女子18名 計36名
指導者 石川 節 男

1, 活動名 「平和」～沖縄戦について～

2, 活動のねらい

- (1) 「平和」について課題を設定することができる。
- (2) 友達と協力しながら平和について意欲的に調べたり、まとめたりすることができる。
- (3) 平和な世界を築こうとする意識を持ち、自分たちの生活の中で何ができるか考えることができる。

3, 育てたい資質や能力

- (1) 自ら課題を見つけ、問題解決ができる子
- (2) これまでの戦争や世界情勢について学び、ともに生きようとする子

4, 育てたい資質や能力から見た児童の実態

明るく素直な子が多く、男女の仲も良い。また、行事の準備やボランティア活動に対しても積極的に取り組むことができる。学年全体から見たときも、学級の友達のみならず他の学級とも休憩時に一緒に遊んだり、歌を歌うときでも恥ずかしがらずにはっきりとした声で歌うことができる。1学期後半には、最上級生としての自覚がしっかり備わってきた。

その反面、授業の中で発表するときは、消極的な子が多い。言葉遣いにおいても友達だからということで雑な子がいる。社会科での調べ学習においては、早く終わらせようとする子があり、粘り強く取り組むことに苦手なようである。

今回6年の総合的な学習の時間において、自ら課題を設定し、共通課題でグループを組んだ友達と力を合わせて課題解決ができるように励ましていきたい。学習を進めていく中で、自主性、協調性、積極性が身につく、問題解決能力が育成されることをねらいたい。平和について深く考え、世界の情勢に目をむけ、身近な問題としてとらえることができるよう活動を進められるように支援したい。

5, 活動について

(1) 教材観

第6学年では、各教科や道徳の学習で生命尊重や平和について取り扱った題材が多くある。社会科においては、「戦争から平和への歩みを見直そう」と日本がこれまで行ってきたことを学習することができる。目標においても「平和を願う日本人として世界の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」「基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てる。」また、学校行事では全校生徒による平和集会、平和学習への取り組み（図書館教育）等の教科・行事面からも「平和」は、6学年にとって学習しやすい題材である。

また、これまでの平和講演や学習発表会での先輩方の発表をみているため、子ども達にとっても取り組みやすい学習になると考えられる。

今回の学習を進めるにあたって、各教科の学習と平和・世界情勢と結びつけながら課題を設定させ、学習に取り組ませたい。

課題を解決していく中で、世界が平和になるためにどうすべきか、世界の人々と共により

よく生活していくことが大切であることが意識できるようになることを期待したい。

(2) 指導観

学年テーマ「平和」から子ども達に一人一人に個人テーマを決めさせ、友達同士似ているテーマでグループを決めさせ、グループテーマを決めさせた。各グループのテーマをまとめると沖縄戦に結びついたためサブテーマを「沖縄戦について」と設定した。子ども達は、慰霊の日について知ってはいるものの、この沖縄でどのような戦争が繰り広げられたについての知識は浅い。また、6年生の社会科の歴史の授業でも沖縄戦については1時間ほどしか扱われていない。子ども達のテーマに沿って、自分たちが生活しているこの沖縄で60年前にどんな戦争があったか、どのような状況だったのかを調べることで、生まれ育った自分の故郷について理解することができであろう。また、これからの平和についても考え、生命尊重人権教育にも結びつくように指導を展開したい。

調べ学習の展開では、各グループの計画に沿って調べ学習を進めさせるが、子ども達が多く的手段や方法を使って学習を行うことができるように事前に教師で資料を収集しておく必要がある。また、調べ学習が充実するために教師間も連携を図り、学習の計画・道筋を予め練っておき、子ども達への支援がしっかり行えるように準備しておくことが大切である。さらに子ども達の学習の取り組みでよいところを見つけ常に賞賛し、活動への支援ができるようにしておくことが大切になる。この賞賛により、あらゆる教科や領域に広げられるように指導ができるように心がけたい。

(3) 事前指導

○平和集会にて体験者の講演を聞く。

○総合的な学習の時間において「さとうきび畑の歌」を鑑賞する。

○平和祈念資料館の内容について学習する。(管内利用のマナーも含む。)

6. 指導仮説

- (1) 自らの課題を設定し、友達と共通課題を見つけ取り組むことで意欲的に学習ができるであろう。
- (2) グループで調べ学習の計画や方法を考えさせることで、友達と協力し積極的に学習に取り組むであろう。
- (3) 課題解決ができることで、平和や世界の情勢に目をむけ今後の自分の生き方について考え、実践していくことができるであろう。

7. 全体計画

	学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価【評価項目】
つ か む 8 時 間	1, ビデオを視聴する。 2, 学年テーマ「平和」について考え、個人テーマを設定する。 3, グルーピングをして、グループの調べるテーマを設定する。 4, 調べ学習の計画や方法を考える。 ・図書館利用 ・インターネット ・インタビュー ・新聞記事等	○総合学習で取り組むために関連するビデオであることを知らせる。 ○「平和」から広げ、自由に個人テーマを決めさせる。 ○自分に似たテーマ同士を集めグルーピングをさせる。一人になった場合は近いものを探させグループを組ませる。 ○調べ学習の計画や方法を各グループで話し合わせる。悩んでいるグループには、助言をする。 【課題設定の能力・追求力】

(3) 本時の流れ

流れ	学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価
つ か む 15 分	1, オリエンテーション ○館内でのマナーの確認 ○資料館の見学・調べ学習の時間の確認 2, 今日の学習計画の確認 ○各グループで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で行ったことを想起させ、館内でのマナーを確認する。 ・調べ学習の流れを確認させる。 <p>【課題設定の能力・追求力】</p>
追 求 す る 2 時 間	3, 資料館の見学・調べ学習 ○グループの計画に沿って調べ学習をする。 2 F 歴史を体験するゾーン 第1展示室「沖縄戦への道」 ○満州事変から沖縄戦に入るまでの経緯を調べる。 第2展示室 住民から見た沖縄戦 「鉄の暴風」 ○沖縄戦において日米両軍の戦いの展開について調べる。 ○日米両軍の軍事力についても調べる。 第3展示室 住民から見た沖縄戦 「地獄の戦場」 ○日本守備軍の南部への撤退により、軍民入り乱れての悲惨な戦場化となったことを調べる。 ○軍民の間に何がおきたか、現実にも目を向けて調べる。 第4展示室 住民から見た沖縄戦 「証言」 ○悲惨な戦争から生き残った人々の証言から沖縄戦で起こったことを調べる。 第5展示室 「太平洋の要石」 ○戦後沖縄で起こった土地闘争や復帰運動について調べる。 ○当時の世界情勢についても調べ、世界で何が起こっていたかにも目を向ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの調べ学習の計画を確認させ、スムーズに流れるように考えさせる。 ・各グループの計画に沿って、調べ学習を始めさせる。 ・各グループの課題に沿って調べるように促す。 興味があるものについても調べていいことを知らせる。 ・第1展示室 沖縄戦前の時代の流れや経緯について調べさせる。 ・第2展示室 沖縄戦（地上戦）での日米両軍の戦い方について調べさせる。 ・第3展示室 日本軍の撤退の理由や撤退してからの戦争がどのようなようになっていったか調べさせる。 悲惨な戦争が繰り広げられたことと、民間人がどのようなことを強いられたか詳しく調べることができるようにする。 ・第4展示室 生き残った人々の証言から沖縄戦で起きた事実を調べさせる。 ・戦後沖縄で起きた事象について調べる。土地闘争、復帰運動についても経緯を考えるようにさせる。 ・当時の世界情勢についても調べさせる。 <p>【追求力・学び続ける力】</p>

		【主体性・創造性・共に生きる力】
--	--	------------------

流れ	学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 評 価
----	---------	-----------------

追 求 す る	<p>1 F 未来を展望するゾーン 「プロセス展示室」</p> <p>○「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」 18人の子ども達の生活の様子について調べる。</p> <p>○「いませかいで何が」 世界で起こっているあらゆる事実について調べる。</p> <p>○「わらびな一（庭）」 遊びを通して共通性を見出し、平和について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在世界の子どもの様子や実態について調べさせ、自分達との違いについて気付かせるようにする。 ・具体的にどう違うか考えさせ世界が平和で豊かになるためには、どうあるべきか考えるようにさせる。 ・各展示室があるが、子ども達の主体性を考え調べ学習ができるように支援する。 <p>【追求力・学び続ける力】 【主体性・創造性・共に生きる力】</p>
ま と め る 15 分	<p>4, 見学・調べ学習を行って感想をまとめ発表する。 ○友達の良さを認める。</p> <p>5, 次時報告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の調べ学習で分かったことや気付いたことを発表させる。 ・友達の発表を聞いて良かった点を発表するようにさせる。 ・次時報告をする。 ・帰りの安全面について確認させる。 <p>【主体性・創造性・共に生きる力】</p>

(4) 評価

☆テーマに沿って調べ学習をすることができたか。

☆平和学習について今後どうしていくべきか、自分なりに考えることができたか。

9、「総合的な学習の時間」の評価内容

(1)「総合的な学習の時間」のねらいからの評価

- ① 自ら課題を見つけ、自から学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- ② 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

(2) 評価の観点及び評価基準

観 点	評 価 規 準	具 体 的 な 評 価 規 準
課題設定の能力 追求力	○自ら課題を見付けることができる。	○自分で課題を選ぶことができる。 ○自分で課題を見付けることができる。
学び続ける力 表現力 (問題解決の能力)	○情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などを工夫し、問題を解決することができる。	○見通しを持って、解決する計画を立てることができる ○学び方や考え方を身に付けることができる。 ○目的にあった情報を選択したり、集めたり、処理した

		<p>りすることができる。</p> <p>○自分の解決や作成の過程や結果を工夫して、効果的にまとめることができる。</p> <p>○自分の解決や作成の過程や結果について、工夫して分かり易く発表することができる。</p> <p>○つまずいたり困難なことが起きたとき、計画を修正したり、工夫したり、他の人の意見を聞いたりして、解決に結びつけることができる。</p>
主体性・創造性 共に生きる力	○問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組むことができる。	<p>○課題意識・目的意識をもって、主体的に粘り強く、解決活動や探究活動に取り組むことができる。</p> <p>○自分や友人の考え方の良さや工夫したことを自覚したり、認めたりすることができる。</p>
自己の生き方	○自己(現在や将来の)の生き方について考えることができる。	<p>○自分の得意なこと(不得意なこと)、良さなどについて自覚することができる。</p> <p>○自分の希望やしたいことの実現に向けて積極的に行動することができる。</p> <p>○他の人の考え方、行動を認めたり、学んだりしようとする。</p> <p>○活動、学習を通して自分の生き方や自立を考えることができる。</p> <p>○自分の興味・関心のあること、将来についての希望などを自覚することができる。</p>

(3) 評価方法 (ポートフォリオ評価)

行 動 観 察	課題解決のプロセスや活動の参加状況を観察し、支援を行う。
自 己 評 価 相 互 評 価	学習の活動状況や成果について、児童に自己の活動を評価させ、目的意識と追及(探求)意欲を引き出す。また、グループ活動の相互評価を行い、活動の促進につなげる。
ワークシート レポート 作 品	ワークシート・レポートや作品に現れた表現や努力の様子を読みとり、自信をもたせ、意欲的に学習に取り組めるようにする。
情 報 交 換	TTなどでの学習状況を情報交換し、子どもの良さや学習の進歩を把握する。